調達管理番号・案件名
26a00652_アフリカ地域(広域)ABEイニシアティブ付加的プログラム効果測定にかかる調査(プロジェクト研究)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年10月5日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	12	「(2) キックオフ会議の実施」	キックオフ会議は最終報告会と同様、JICA本部での開催を想定されていますか。	JICA本部での開催を想定しています。
2	13	「(7) 関係者へのインタビュー」	ABEイニ現役生や企業等の関係者へのインタビューは、関東や関西など、複数都市での実施が想定されていますか。	インタビュー対象者は関東、関西など複数の都市にまたがると想定しております。ただし、遠方(目安として東京から100km以上遠い都市)の在住者へのインタビューはオンラインでの実施を想定します。インタビュー対象者の現在の在住地は未確定ですが、おおよそ7割は関東圏、3割はそれ以外と想定しています。そのほかの詳細情報は公示情報をご確認ください。
3	13	第4条 調査の内容(7) 関係者へのインタビュー	ABEイニ修了生や現役生のヒアリングでは日本語もしくは英語でやり取りが可能か。通訳の手配は必要か。	ABEイニ参加者は日本語話者はほぼいないものの、英語が話せます。原則として日本語通訳は不要です。
4	18	「2. 業務実施上の条件(1)業務工程」	中間報告を実施し、その際のJICAからのコメントを踏まえて調査後半の実施方法等を修正することとされていますが、「2. 業務実施上の条件(1)業務工程」には中間報告の実施時期が示されていない。中間報告について、現時点で想定されている実施時期があればご教示いただきたい。	12月中旬から下旬を想定します。
5	18	「2. 業務実施上の条件(3)配付資料／公開資料等」	付加的プログラムに関するプログラム別ごとの参加有無、参加回数、参加時期、内容、インターンシップ先の属性、といった情報は個人単位で整理されたデータをJICA又は運営支援機関が保有しているとの理解でよいか。 統合されたデータが存在しない場合、インターンシップ報告書、参加者名簿、研修実施記録等、個人別の参加状況を確認できる原資料がどの程度保管されており、本業務で提供可能かご教示いただきたい。併せて、記録が存在する付加的プログラムの種類、対象バッチ及び対象期間についてもご教示いただきたい。	データ欠損は一部存在するものの、現役時代及び修了後のプログラム参加履歴について、個人単位で整理された情報を保有しています。また、インターンシップ参加実績等も保有しています。対象バッチ及び記録保有状況の詳細については契約締結後に共有予定です。
6	23	「別紙4　1. 情報の取り扱い」	別紙4の「レベル1」に記載された各項目は、修了生ごとに申請情報等との紐付け可能な個人単位のデータとして整備されているとの理解でよいか。 また、「現所属先」「日本企業との関係」「進路調査時の回答内容」「JICA主催各種プログラム参加歴」等については、毎年又は複数時点で継続的に収集・更新されているデータか。それとも、特定時点(2022年の調査時)のデータのみか。	1点目にいただいたご質問の回答として、レベル1の項目は個人単位のデータとして整理されています。 2点目にいただいたご質問の回答として、卒業時にデータを得るとともに、2022年の調査時にもデータを得ています。そのほか、修了生向けのイベント参加した際に進捗情報を得た場合は更新しているものもあります。ただし、更新時期までは把握していません。
7	23	「別紙4　1. 情報の取り扱い」	レベル1のデータについて、データの構造、利用可能な変数、収集時点、更新頻度、対象者数及び欠損状況を把握するため、可能であれば匿名化したデータサンプル、項目一覧又は調査票を提供いただきたい。	個人情報を含むため匿名化データサンプルの事前提供は予定していません。一方で、契約締結後には受注者に対し、利用可能なデータ項目表及び関連情報等を提供する予定です。

以上